

正誤表（南米）

①P99,3行目

（誤）「平岩（2016）は,2004年以降 JICA の研修に継承語プログラムの新カリキュラムが導入され,その背景に（JFL）」と分類されることが多いが,実際には,学校現場では日系人や非日系人など様々な背景を持つ学習者が混在していることや,世代を経てすでに現地語化した学習者にも適応されていること等から「JHL」「JFL」と一概に区別することは容易ではない（平岩 2016、江原 2007）。」

（正）「平岩（2016）は、2004年以降 JICA の研修に継承語プログラムの新カリキュラムが導入され、その背景にカナダやアメリカの継承語教育の影響があることを指摘し、「継承語」ということばは「消滅への道を辿っている世界の日系人の日本語教育を「継承語」として新しく意義付けることにより、少しでも日本語を存続させていこうとする試み（p18）」として、2000年初期にその概念が南米に紹介されて以来、南米に定着したことばとなったと言及している。また近年南米の子どもの日本語教育は「継承語としての日本語教育（JHL）」「外国語としての日本語教育（JFL）」と分類されることが多いが、実際には、学校現場では日系人や非日系人など様々な背景を持つ学習者が混在していることや、世代を経てすでに現地語化した学習者にも適応されていること等から「JHL」「JFL」と一概に区別することは容易ではない（平岩 2016、江原 2007）。」

②P103 & P 105

（誤） P103「図4 パラグアイの日系人団体ある地域と日系人の数（2017年）」及び P 105「図7 日系人団体所属の日本語学校と公教育校（2020年）」

(正)

図4 パラグアイの日系人団体ある地域と日系人数(2017年)

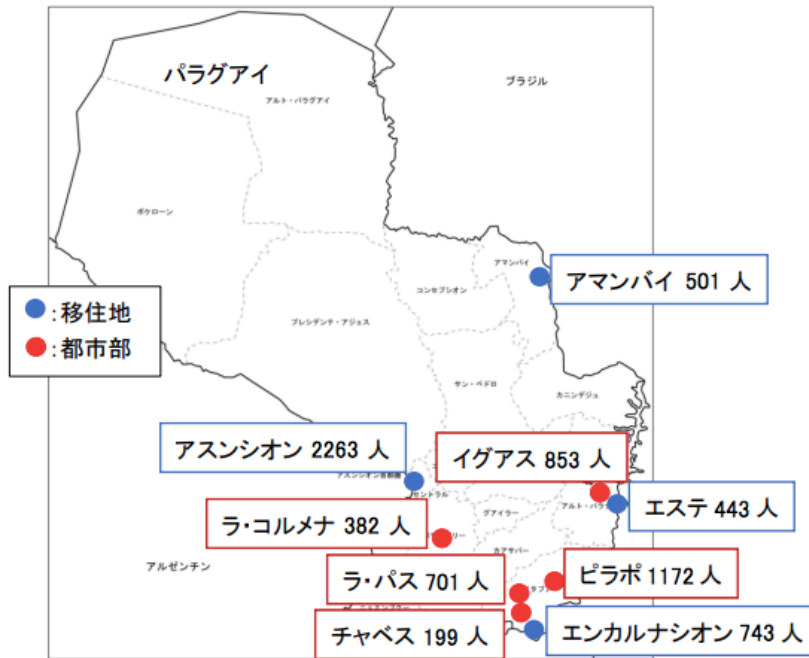
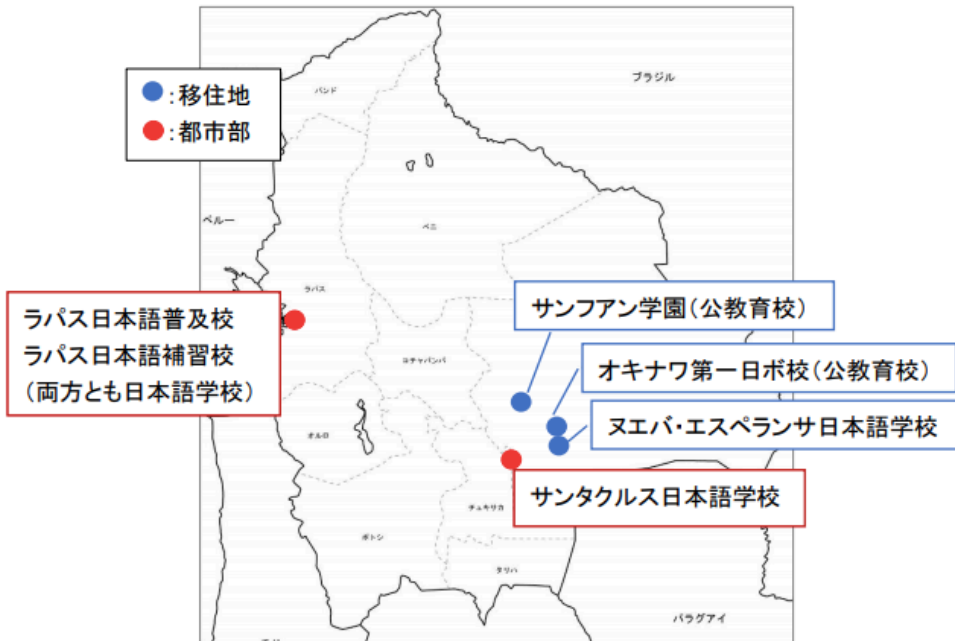


図7 日系人団体所属の日本語学校と公教育校(2020年)



③P112,1行目とP116,8行目

(誤) 「質問(2):」

(正) (フォントサイズを小さくする)

④P113,1行目

(誤) 質問(2)

回答

(正) 質問(2)

回答

⑤p117 訳注 53

(誤) 「日本からブラジルに帰国した日系ブラジル人の子ども支援団体。1990年代後半からサンパウロで中川郷子博士(臨床心理)が中心になり,専門家(臨床心理,遊戯・教育心理など)がサンパウロ市政府の協力を得て行っている心理相談,社会順応支援,教育指導,就学支援活動。」

(正) 「日本からブラジルに帰国した日系ブラジル人の子ども支援団体。2008年にブラジル三井物産基金の支援のもと中川郷子博士(臨床心理)が中心となり,サンパウロ市政府の協力を得て,専門家(臨床心理,遊戯・教育心理など)と共に心理相談,社会順応支援,教育指導,就学支援活動を行っている」

※参考:「カエルプロジェクトー日本からブラジルへの帰国子弟のサポート10年間の報告ー」中川柳田郷子

https://waseda.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=47062&item_no=1&page_id=13&block_id=21

⑥P118,3.まとめ,1-2行目

(誤) 「「南米における子どもの日本語教育の概要を整理し特に子どもの学習者が多い国々:アルゼンチン,パラグアイ,ブラジル,ペルー,ボリビア,の現状と課題を伝える」

(正) 「「南米における子どもの日本語教育の概要を整理し特に子どもの学習者が多い国々:アルゼンチン,パラグアイ,ブラジル,ペルー,ボリビアの現状と課題を伝える」